

小学校 国語A

設問2 出題の趣旨

文の構成について理解することができるかどうかをみる。

- 一 主語として適切なものを選ぶ。
- 1 降っていた 雨が 急に やんだ。
- 2 ぼくの 妹の 誕生日は、 五月二日だ。
- 二 文の型を選ぶ。
- 1 私は、国語の学習で感想文を書いた。
- 2 頂上から見える景色は、すばらしい。
- 3 日本で一番高い山は、富士山だ。
- 文の型
- ア 「何は(が)」「何だ」
- イ 「何は(が)」「どうした」
- ウ 「何は(が)」「どんなだ」

設問 一

〔第1学年及び第2学年〕

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- (1) イ言葉の特徴やきまりに関する事項
(カ) 文の中における主語と述語との関係に注意すること。

設問 二

〔第3学年及び第4学年〕

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- (1) イ言葉の特徴やきまりに関する事項
(キ) 修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的な理解をもつこと。



この問題は〔第1学年及び第2学年〕と〔第3学年及び第4学年〕の指導事項に関連した内容なのか・・・
全国学力・学習状況調査の問題は、組織的、計画的に指導することが大切なことが、この設問からも分かるな。

文法の学習は、1～2時間の小単元で扱われることが多いため、教科書の内容を読んで確認し、児童に文法を覚えさせる授業が多く見られます。

このような指導では、時間の経過とともに、学習した内容を忘れてしまう児童がでてきます。




学習指導に当たって大切なこと

- 主語と述語との照応関係が大切であるということについて、文や文章を理解したり表現したりするときに、強く意識できるように指導する。
- 主語は、「何は（が）」「誰は（が）」などという言葉があてはまること、述語は、動き（「どうした」）や様子（「どんなだ」）、性質（「何だ」）を表す言葉であることなどを理解できるように指導する。

特に

- ◎ 区別したことが視覚的に捉えやすいカードやワークシートを活用したり、グループやペアで理由を添えて説明し合う場を設けたりする。



文法指導にありがちな、教科書の内容を確認するだけの講義形式、一斉指導の授業では、児童に言葉の力は身に付きません。過去のHP「[福島県学力調査 国語 小学校 問題編 1](#)」(H27.2.4) を再度確認してください。  クリックしてください

家庭学習の日記指導で、児童が書いた文章の主語や述語を添削等で確認することも有効です。

さらに、自分の思いを読み手に伝えるためには、正しい文法を使うことが大切であることを、日記を通して実感させることにより、文法を学習する必然性も生まれてきます。

